

ハイボンサビスタファイン[®]

鉄部改修時の素地調整は、塗り替え塗膜の防食性能や塗膜寿命に大きく影響します。しかし、電動工具が入らない部位や素地調整による火花や粉塵、騒音等が出せない作業環境では、十分なケレンができません。ハイボンサビスタファインは、さび止め塗料を塗布する前に、このような除去しきれない残存さびに塗装することでイオントラップ剤の効果により、残存さびからの影響を軽減する、弱溶剤形のさび面素地調整補助剤になります。ターペン可溶タイプですので塗料用シンナーにて希釈でき、臭気がマイルドで、旧塗膜や素材を起こしたり傷めにくい塗料です。

特 長

1

素地調整の補助

素地調整において、さびを完全に除去しきれない部位の防錆性を向上します。

2

優れた防食性

変性エポキシ樹脂塗料下塗りとの組み合わせで、3種ケレンの素地調整でも優れた防食性を発揮します。

3

優れた付着性

さび面に対して深く浸透し固着することにより、優れた付着性を発揮します。

4

優れた乾燥性

乾燥が速く、条件によりその日のうちに次工程に移ることができます。

5

優れた作業性

淡黄色クリヤーですので、乾燥後の施工箇所が分かり易く、作業性に優れています。

6

使いやすいターペン可溶タイプ

塗料用シンナーで希釈ができ、旧塗膜のリフティングの心配が少なく、臭気がマイルドな塗料です。

塗装箇所



適用部位



電動工具が入らなく、さびを完全に除去できない部位



鋼材の形状が複雑でさびを完全に除去できない部位

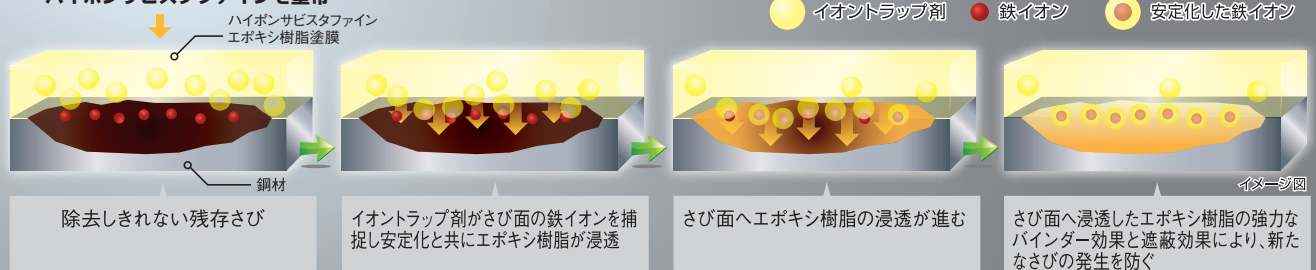


火花や粉塵、騒音等が出せない作業環境でさびを完全に除去できない部位

イオントラップ剤による鉄イオン安定化メカニズム

ハイボンサビスタファインに含まれるイオントラップ剤が、さび中の鉄イオンを捕捉し安定化させることによってさびの成長を防ぎます。また、ハイボンサビスタファインに含まれる特殊防錆顔料が、保護皮膜効果を与え、さらにエポキシ樹脂塗膜による強力なバインダー効果とさびへの浸透による遮蔽効果により新たなさびの発生を防ぎます。

ハイボンサビスタファインを塗布



用 途

経年劣化した建築物の鉄部(鉄扉、手すり、架台など)、各種鋼構造物(橋梁・タンク外面・鉄骨など)などの素地調整後の除去しきれない残存さびへの補修塗り。

荷 姿

15kgセット(塗料液:硬化剤=13.5kg:1.5kg)
4kgセット(塗料液:硬化剤=3.6kg:0.4kg)

色 相

淡黄色クリヤー

ハイポンサビスタファイン

塗装仕様例（塗り替え）※下記仕様以外にも対応可能です。

●建築物 一般鉄部の仕様例

工 程	塗料名（一般名称）	使用量(kg/m ² /回)	塗り回数	塗装方法	シンナー名（希釈率）	塗り重ね乾燥時間(23℃)
下地調整	発錆部・劣化部は、第3種ケレン以上除錆する。 旧塗膜(活膜)は、サンドペーパーやナイロン不織布研磨材などを使って研磨し、油分はシンナー拭きして除去する。					
補修塗り	ハイポンサビスタファイン (弱溶剤形さび面素地調整補助)	0.11～0.13	1	はけ・ウールローラー	塗料用シンナーA (0～5%)	4時間以上10日以内
下塗り	ハイボンファインプライマーII (弱溶剤形2液エポキシ樹脂さび止め塗料)	0.16～0.18	1	はけ・ウールローラー	塗料用シンナーA (0～10%)	4時間以上7日以内
上塗り①	ニッペ ファインウレタンU100 (ターペン可溶2液形ポリウレタン樹脂塗料)	0.12～0.17	1	はけ・ウールローラー	塗料用シンナーA (5～10%)	2時間以上
上塗り②	ニッペ ファインウレタンU100 (ターペン可溶2液形ポリウレタン樹脂塗料)	0.12～0.17	1	はけ・ウールローラー	塗料用シンナーA (10～15%)	—

●鋼構造物の仕様例

工 程	塗料名（一般名称）	使用量(kg/m ² /回)	塗り回数	塗装方法	シンナー名（希釈率）	塗り重ね乾燥時間(23℃)
下地調整	発錆部・劣化部は、手工具、電動工具などを使ってISO St2以上除錆する。 旧塗膜(活膜)は、サンドペーパーやナイロン不織布研磨材などを使って研磨し、油分はシンナー拭きして除去する。					
補修塗り	ハイボンサビスタファイン (弱溶剤形さび面素地調整補助)	0.12	1	はけ・ウールローラー	塗料用シンナーA (0～5%)	4時間以上10日以内
下塗り	ハイボン20ファイン (弱溶剤変性エポキシ樹脂下塗り塗料)	0.20	1	はけ・ウールローラー	塗料用シンナーA (0～10%)	16時間以上10日以内
中塗り	デュフロン100ファイン中塗り (弱溶剤ふっ素樹脂脂用中塗り塗料)	0.14	1	はけ・ウールローラー	塗料用シンナーA (0～10%)	3時間以上10日以内
上塗り	デュフロン100ニューファイン [※] (弱溶剤形ふっ素樹脂上塗り塗料)	0.12	1	はけ・ウールローラー	塗料用シンナーA (0～10%)	—

※デュフロン100ファインも使用可能です

- ・上記仕様の下塗り・中塗り・上塗りにつきましてはエアレススプレー塗装も可能です。詳細は各製品の製品使用説明書等をご参照ください。
- ・上記の数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。
- ・上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。
- ・旧塗膜が塗料用シンナーAにて溶解またはリフティングする箇所は、ケレン除去してください。
- ・層状さびや浮きさびは必ず除去してから施工してください。
- ・海岸部等の飛来塩分量の多い塩害地域や凍結防止剤が散布されている環境の場合、被塗物表面に塩垢粒子や凍結防止剤の塩の固着が考えられます。水洗いにて被塗物表面の塩分除去を行ってください。
- 水洗い後は、被塗物表面が十分に乾燥してから塗装を行ってください。

ハイボンサビスタファインの使用方法

- 【調 合】 2液形のため「塗料液/硬化剤=9/1(重量比)」の混合比により混合し、十分にかくはんしてください。
- 【ポットライフ】 6時間(23℃)
- 【シンナー】 塗料用シンナーA(規定の希釈率以内で希釈してください。)
- 【塗 装 方 法】 溶剤用刷毛や短毛ローラーまたは中毛ローラーにて均一に塗装してください。
- 【下 塗 り】 補修塗りにて「ハイボンサビスタファイン」を塗装後は、必ずさび止め塗料による下塗りを行ってください。さび止め塗料は下記主な適用下塗りをご参照ください。
- 【中塗り・上塗り】 下塗りに適合した中塗りまたは上塗りをご使用ください。詳しくは、各下塗りのカタログなどをご参照ください。

主な適用下塗り

弱溶剤系	水性系
●ハイボンファインプライマーII ●1液ハイボンファインデクロ ●ニッペ エスパーワニス	●ニッペ パーフェクトプライマー ●ハイボン20ファイン ●ハイボン20ファインHB ●オーデハイボンプライマー ●水性ハイボ20

・上記以外の適用下塗り塗料につきましては、最寄りの営業所までお問い合わせください。

使用上の注意事項(詳細な内容については、各製品の使用説明書などでご確認ください。)

- ①層状さびや浮きさびは必ず除去してから施工してください。下地調整程度が悪い場合には、はく離や早期のさび発生が起こる可能性があります。

②十分な塗膜性能を確保するため、規定の使用量をおまもりください。

③溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気をしてください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者への配慮をお願いします。

④塗料用シンナー以外(例えばエポキシシンナー等)での希釈は避けてください。

⑤所定のシンナー以外を使用したり、薄めすぎるとつり掛けやダシ、かぶり不良などをきたす原因になりますので、必ず所定のシンナーおよび希釈率をまもってください。

⑥塗装間隔は遵守してください。

⑦硬化が十分な場合は、シンナーで再溶解場合があります。

⑧水の混入は絶対に避けてください。

⑨塗料を扱う場合は、皮膚に付着しないようにご注意ください。また、蒸気やミストなども吸い込まないように十分にご注意ください。

⑩塗膜の乾燥過程で水分の影響を受けた場合(高湿度、結露、降雨など)、塗膜表面が白化するおそれがあります。水分の影響を受けるおそれがある場合は、塗装を避けてください。塗膜表面が白化した場合、そのまま塗り重ねると層間付着性が悪く、はく離するおそれがありますので、ペーパー掛け、シンナー拭きなどで白化した層を除去してください。

⑪旧塗膜の発生した薬・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。

⑫内部塗塗り替えにおいて旧塗膜がOPP、FEなどの油性系の場合、研磨すりを行ってください。下地処理が不十分な場合は、塗膜はく離の原因となります。

⑬改修工事に使用する場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、旧塗膜を侵し溶剤彫れや縮みなどの異常が発生する場合がありますので、旧塗膜の種類をご確認のうえ、塗装仕様をご検討ください。

⑭素地の乾燥は十分にしてください。

⑮塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- ⑯塗料液と硬化剤の混合割合は、必ずまもってください。混合割合が不適切な場合、塗膜性能が発現されなかったり、仕上がりや作業性が低下することがあります。

⑰速乾PZヘルゴンエポ、1液水性デクロ、水性ハイボンプライマーおよび強溶剤エポキシ樹脂塗料(ビュエポキシ・変性エポキシ)の塗り重ねは、避けてください。

⑱没水部などへの適用は避けてください。

⑲塩化ゴム系塗料への塗り重ねは避けてください。

⑳塗料を連続して直射日光にさらされる場合の塗り重ねは、5日以内に塗り重ねてください。5日を超える場合は、面荒しを行ってください。

㉑屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。

㉒塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。

㉓塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。

㉔飛散防止のため必ず養生を行ってください。

㉕汚れ、きずなどに、より補修塗りに必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。

㉖塗装用具の洗い溶剤はラッカーシンナーを使用してください。

㉗シンナー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご利用ください。

㉘塗料は内容物が均一になるようににかくはんしてください。薄めすぎは隠れい力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。

㉙開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。

㉚作業前に容器に表記されている「安全衛生上の注意事項」をご参照ください。

㉛塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横置にしないでください。

㉜製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

安全衛生上の注意事項(ハイボンサビスタファイン 塗料液)

- ①本来の用途以外に使用しないでください。

②使用前に取扱説明書を手入手してください。

③すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないでください。

④熱・火花・炎/高温のものによる着火源から遠ざけてください。一禁煙です。

⑤容器を密閉しておいてください。

⑥容器を接地/アースをとってください。

⑦防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用してください。

⑧火花を発生させない工具を使用してください。

⑨静電気放電に対する予防措置を講じてください。

⑩粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないでください。

⑪取扱い後は、手洗いおよびうがいを十分にしてください。

⑫この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしてはいけません。

⑬必要な時以外は、環境への放出を避けてください。

⑭保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用してください

⑮取り扱った後に、環境への放出を避けてください。(酸化剤の例:消防法第1類、消防法第6類、硝酸、過酸化水素水、水酸化ナトリウム、水酸化カルシウム)
- ①気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けてください。

②緊急の特別な処置が必要な場合は実施してください。

③飲み込んだ場合: 気分が悪いときは、医師に連絡してください。口をすいてください。

④容器からこぼれた液体は、布で拭き取って水を張った容器に保管してください。

⑤漏出物を回収してください。

⑥皮膚または髪に付いた場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱いでください。皮膚を流水かシャワーで洗ってください。

⑦吸入した場合: 気分が悪い時は、医師に連絡してください。

⑧吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。

⑨はく離またはばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けてください。

⑩皮膚刺激を生じた場合: 医師の診断/手当てを受けてください。

⑪汚染された衣類を脱いで、再使用する場合には洗濯してください。

⑫火花の場合: 消火に適切な手段を使用してください。

⑬施設に保管してください。

⑭換気の良い場所で保管してください。涼しいところにおいてください。

⑮直射日光や水濡れは厳禁です。
- ①塗料等の缶の積み重ねは3段までとしてください。

②日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上(スプレー缶の場合は40℃以上)の温度には露しないてください。

③容器はつり上げないでください。やむを得ずつり上げるときには、適切なつり具で、垂直に持ち上げ、落下に十分注意してください。(偏荷重になると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。)

④内容物/容器を国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。

⑤塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流す環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

※上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示と異なる場合があります。

■詳細な内容、表示例以外の製品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

■本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

危 険	危険有害性情報	引火性液体及び蒸気/皮膚刺激/発がんのおそれ/生殖能又は胎児への悪影響のおそれ/臓器の障害のおそれ(単回ばく露)/長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ/水生生物に非常に強い毒性/長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性
-----	---------	--

※その他製品の安全衛生上の注意事項につきましては、各製品の安全データシート(SDS)をご参照ください。

日本ペイント株式会社

北海道支店	☎ 011-370-3101	近畿支店	☎ 06-6455-9608
東北支店	☎ 022-232-6712	中国支店	☎ 082-281-2180
関東支店	☎ 03-5479-3614	四国支店	☎ 0877-56-2346
北関東信越支店	☎ 03-5479-3614	九州支店	☎ 092-751-9861
中部支店	☎ 052-461-1960		

- 本カタログの内容については予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- ©Copyright 2018 NIPPON PAINT Co., Ltd. All rights reserved.
- 日本ペイントホームページ <http://www.nipponpaint.co.jp/>

カタログNo.
NP-W088

AA180806T
2018年8月現在